　　《経験のつながり整理シート》５歳児

「就学前教育カリキュラム(改訂版)」東京都教育委員会(平成28年３月)を参考に作成

資料４

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期 | | Ⅰ期（４月～５月） | Ⅱ期（６月～９月） | Ⅲ期（９月中旬～10月） | Ⅳ期（11月～12月） | Ⅴ期（１月～３月） |
| ねらい | | 様々な活動に興味や関心をもち、自分からすすんで活動し、楽しかったことを振り返る。 | 自分なりの目的やめあてをもち、考えたり試したりしながら繰り返し取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付く。 | 自分なりの目的やめあてに向かって、自分の力を出しながら取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付いたり、次の活動を楽しみにしたりする。 | 目的やめあてに向かって、工夫したり友達と協力したりしながら、最後まで取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付いたり、次の活動への期待や意欲につなげたりする。 | 目的やめあてに向かって、様々な方法を試しながら諦めずに取り組み、最後までやり遂げた満足感や充実感を味わい、活動で振り返ったことを、次の活動への期待や意欲につなげる。 |
| 指導内容 | 見通す | ・興味や関心をもって話を聞いたり、活動に期待をもったりする。  ・内容や流れがおおむね分かって取り組む。 | ・疑問に思ったことを聞いたり、気付いたことを話したりしながら、活動の内容や流れを理解する。  ・どのようなことをしたいか、自分なりの目的やめあてをイメージする。 | ・活動を進めるために必要なことを自分なりに考えたり、考えたことをみんなに分かるように伝えたりする。  ・具体的な目的やめあてをイメージしたり、友達と共有したりする。 | ・より楽しく活動を進めようと必要なことを考えたり、友達と共有したりする。  ・活動に期待や意欲をもち、目的やめあてを考えようとする。 | ・より楽しく活動を進めようと友達と考えを出し合う。  ・活動への期待や意欲から目的やめあてを考えたり、友達の刺激を受けて新しいことに挑戦しようとしたりする。 |
| 活動する | ・自分なりに考えたことを伸び伸びと表現する。  ・気付いたことを試したり、自分なりに工夫したりしながら取り組む。 | ・どうすればうまくいくか自分なりに考えたり、考えたことを試したりする。  ・自分なりに工夫して表現することを楽しむ。 | ・必要な道具や環境を教員や友達と一緒に準備する。  ・自分の目的やめあてを実現しようと、経験したことや気付いたことを生かして取り組む。  ・うまくいかない時にどうすればよいか自分なりに考え、工夫して取り組む。 | ・自分の目的やめあてを実現しようと、教員や友達のアドバイスを受け入れたり、これまでの経験から身に付けたことを生かしたりしながら取り組む。  ・「もっとこうしたい」という思いをもったり、うまくいかなくても諦めずに取り組んだりする。 | ・自分の目的やめあてを実現しようと、自分のよさを生かしたり、友達のよいところを取り入れたりしようとする。  ・「もっとこうしたい」という思いをもって繰り返し取り組んだり、うまくいかない時にやり方を変えて取り組んだりして、やり遂げた満足感や達成感を味わう。 |
| 振り返る | ・自分の思いや考えを自分なりの言葉で　伝えようとする。 | ・自分が考えていたことや思っていたことを話し、認めてもらうことで自分のよさに気付く。 | ・自分が考えていたことや思ったことを、みんなに分かるように言葉で伝える。  ・教員や友達に認められ、自分のよさに気付いたり実感したりする。  ・友達のよさに気付く。 | ・友達のよさについて、気付いたことを自分なりの言葉で伝える。  ・振り返ることで気付いた自分のよさから、次の活動でどのようなことをしたいか考え、期待や意欲をもつ。 | ・自分や友達のいろいろなよさについて気付いたり学級で共有したりする。  ・振り返ることで気付いた自分のよさから、次の活動でどのようなことをしたいか考え、期待や意欲をもつ。 |
| 活動のねらい | |  |  |  |  |  |
| つなげる活動 | |  |  |  |  |  |
| 振り返り  言葉掛け例 | |  |  |  |  |  |
| 幼児の振り返りに対する  言葉掛け例 | |  |  |  |  |  |

《経験のつながり整理シート》５歳児【使用例】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期 | | Ⅰ期（４月～５月） | Ⅱ期（６月～９月） | | Ⅲ期（９月中旬～10月） | | Ⅳ期（11月～12月） | | Ⅴ期（１月～３月） | |
| ねらい | | 様々な活動に興味や関心をもち、自分からすすんで活動し、楽しかったことを振り返る。 | 自分なりの目的やめあてをもち、考えたり試したりしながら繰り返し取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付く。 | | 自分なりの目的やめあてに向かって、自分の力を出しながら取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付いたり、次の活動を楽しみにしたりする。 | | 目的やめあてに向かって、工夫したり友達と協力したりしながら、最後まで取り組み、活動を振り返って自分のよさに気付いたり、次の活動への期待や意欲につなげたりする。 | | 目的やめあてに向かって、様々な方法を試しながら諦めずに取り組み、最後までやり遂げた満足感や充実感を味わい、活動で振り返ったことを、次の活動への期待や意欲につなげる。 | |
| 指導内容 | 見通す | ・興味や関心をもって話を聞いたり、活動に期待をもったりする。  ・内容や流れがおおむね分かって取り組む。 | ・疑問に思ったことを聞いたり、気付いたことを話したりしながら、活動の内容や流れを理解する。  ・どのようなことをしたいか、自分なりの目的やめあてをイメージする。 | | ・活動を進めるために必要なことを自分なりに考えたり、考えたことをみんなに分かるように伝えたりする。  ・具体的な目的やめあてをイメージしたり、友達と共有したりする。 | | ・より楽しく活動を進めようと必要なことを考えたり、友達と共有したりする。  ・活動に期待や意欲をもち、目的やめあてを考えようとする。 | | ・より楽しく活動を進めようと友達と考えを出し合う。  ・活動への期待や意欲から目的やめあてを考えたり、友達の刺激を受けて新しいことに挑戦しようとしたりする。 | |
| 活動する | ・自分なりに考えたことを伸び伸びと表現する。  ・気付いたことを試したり、自分なりに工夫したりしながら取り組む。 | ・どうすればうまくいくか自分なりに考えたり、考えたことを試したりする。  ・自分なりに工夫して表現することを楽しむ。 | | ・必要な道具や環境を教員や友達と一緒に準備する。  ・自分の目的やめあてを実現しようと、経験したことや気付いたことを生かして取り組む。  ・うまくいかない時にどうすればよいか自分なりに考え、工夫して取り組む。 | | ・自分の目的やめあてを実現しようと、教員や友達のアドバイスを受け入れたり、これまでの経験から身に付けたことを生かしたりしながら取り組む。  ・「もっとこうしたい」という思いをもったり、うまくいかなくても諦めずに取り組んだりする。 | | ・自分の目的やめあてを実現しようと、自分のよさを生かしたり、友達のよいところを取り入れたりしようとする。  ・「もっとこうしたい」という思いをもって繰り返し取り組んだり、うまくいかない時にやり方を変えて取り組んだりして、やり遂げた満足感や達成感を味わう。 | |
| 振り返る | ・自分の思いや考えを自分なりの言葉で　伝えようとする。 | ・自分が考えていたことや思っていたことを話し、認めてもらうことで自分のよさに気付く。 | | ・自分が考えていたことや思ったことを、みんなに分かるように言葉で伝える。  ・教員や友達に認められ、自分のよさに気付いたり実感したりする。  ・友達のよさに気付く。 | | ・友達のよさについて、気付いたことを自分なりの言葉で伝える。  ・振り返ることで気付いた自分のよさから、次の活動でどのようなことをしたいか考え、期待や意欲をもつ。 | | ・自分や友達のいろいろなよさについて気付いたり学級で共有したりする。  ・振り返ることで気付いた自分のよさから、次の活動でどのようなことをしたいか考え、期待や意欲をもつ。 | |
| 活動のねらい | |  | ○様々な材料を使って、自分なりに工夫して作る楽しさを味わう。  ○素材の特徴を知り、選んで使おうとする。 | | ○年中組を喜ばせようと自分なりに考えたり、行動したりする。  ○年中組に自分から話しかけたり、年中組の質問に自分なりに答えようとしたりする。  ○年中組の競技の手伝いをしたり、手本となって動いたりするなど、年長組として行動する喜びを味わう。 | | 〇児童が作った作品に興味や関心をもち、つくり方や材料を自分なりに考える。  ○自分から質問したり、話を聞いたりするなど、児童との交流を楽しむ。  ○図書館に行き、自分で選んだ本を借りる喜びを味わう。  ○図書館の人に質問したりお礼を伝えたりして関わりをもとうとする。 | | ○小学校での生活や授業体験を楽しみ、小学生になることへの期待につなげる。  ○以前交流した３年生の授業を参観したり、交流したりして、親しみをもつ。  ○様々な人を招待し、喜んでもらおうと自分なりに考えて行動する。  ○友達と協力して一つの物を作り上げていく楽しさを味わう。 | |
| つなげる活動 | |  |  | | 運動会  製作 | | 第３学年児童との交流活動  図書館訪問  年中組との交流 | | 遊園地ごっこ  小学校体験 | |
| 振り返り  言葉掛け例 | |  |  | **製作**  「どんなことを考えて材料を選んでいたのかな。」  「どうしたいと思って考えていたのかな。」  「何を悩んでいたのかな。」 | **運動会**  「どんなことを考えて年中さんのお手伝いをしていたのかな。」  「お手本見せている時どんな気持ちだったのかな。」 | **年中組との交流**  「自分から話しかけてみてどんな気持ちだったのかな。」  「年中さんはどんな様子だったのかな。」 | **図書館訪問**  「借りる時どんな気持ちだったのかな。」  「借りる時どんなことを話したのかな。」  「図書館の人と話してみてどうだったかな。」 | **交流活動**  「３年生とどんな話をしたのかな。」  「話してみて嬉しかったことや楽しかったことあったかな。」  「次はこんなことしてみたい、と思ったことあったかな。」 | **遊園地ごっこ**  「招待状を作ったり、年中さんが喜んでくれたりしてどんな気持ちだったのかな。」  「どんなことを考えて乗り物の案内をしたのかな。」 | **小学校体験**  「小学校みたいに過ごしてみて、気付いたり分かったりしたことはあったかな。」  「３年生に久しぶりに会えてどんな気持ちだったかな。」 |
| 幼児の振り返りに対する  言葉掛け例 | |  |  | 「自分なりにどうすればいいか考えたね。」  「じっくり考えたり試したりしていたね。」  「うまくいかない時もどうすればいいか考えられたね。」 | 「どうすれば年中さんが頑張れるか自分なりに考えられたんだね。」  「年中さんのお手本になるように考えて動けたね。」 | 「自分から話しかけてみてよかったね。」  「年中さんが喜んでくれてよかったね。」 | 「ドキドキしたけど自分で借りられたね。」  「借りる時にどうすればいいか自分で考えていたね。」  「お礼の気持ちを自分なりの言葉で言えたね。」 | 「３年生とたくさん話ができてよかったね。」  「小学校に行って、楽しいことや嬉しいことがたくさんあったね。」  「こんなことをしてみたいと思えたことがすごいいいことだね。」  「就学前教育カリキュラム(改訂版)」東京都教育委員会(平成28年３月)を参考に作成 | 「自分たちが考えたことで、年中さんが喜んでくれてよかったね。」  「いろいろなことを考えて案内していたんだね。」 | 「やってみると、気付いたり分かったりすることがたくさんあるね。」  「幼稚園の時みたいに、自分で考えるといいんだね。」  「３年生も覚えていてくれてよかったね。」 |